

6/3 再び震度5強 石川県輪島市・珠洲市

6月3日の早朝、関西圏でも一斉に携帯電話の緊急地震速報のアラートがなりました。1月1日におきた能登半島地震から5カ月たった今でも、大きな地震が起こる可能性はあります。耐久ギリギリで支えられている家屋の現状が、朝日新聞デジタル（6月3日）で報道されました。

3日午前6時31分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が起き、元日の能登半島地震で大きく壊れたものの、かろうじて形をとどめていた家屋が倒壊する被害が確認されている。震度5強を観測した石川県輪島市では、新たに5棟の建物被害が確認された。同市二ツ屋町では、2階建て住宅の1階部分がつぶされ倒壊した。住宅は中谷博之さん（54）の自宅。元日の地震で大きく傾き、隣接する道路側に「く」の字形にせり出し、**全壊の判定**を受けていた。

中谷さんは元日の地震までここで暮らしていたが、今は敷地内の納屋で生活している。3日朝の地震発生時は通勤途中だったが、警察などからの連絡を受け、状況を確認しに戻ってきた。1階部分が倒壊した住宅の道路側には崩れた外壁が散乱している。中谷さんは「どうしようもないので、がれきの片付けをしている。**公費解体**を申請していたので、こうなったら早く解体してほしい」と話した。

公費解体の流れ



石川県内16市町の建物被害と公費解体の状況

県の資料から。建物被害は4月30日、公費解体は4月22日時点。棟数は住家と、公共施設を除く非住家の合計

	完了棟数	申請棟数	全半壊棟数
珠洲市	16棟	1373棟	9141棟
輪島市	54	1703	14949
能登町	5	540	4043
穴水町	6	1352	4354
志賀町	3	1433	6672
七尾市	0	1294	3214
その他10市町	4	833	5243

16市町の合計	完了棟数	申請棟数	全半壊棟数
	88	8528	47616

6～8月の活動予定

○定例会：6/17（月）放課後・7/08（月）放課後 @会議室 A

○11円募金：6/11（月）・7/11（木）@室町門前

○参加イベント予定：

6/21（金）放課後 京都 YWCA・同志社女子中高
合同ワークショップ

7/27（土）16時～20時 新大宮商店街夏祭りボランティア

8/1（木）・8/2（金） 関西 YWCA カンファレンス

参加を希望する生徒は

顧問の佐藤・濱田・小畑

先生に申し込みを！！

卒業生(横山いまいさん)からのメッセージ



私は中学1年生から高校3年生まで、東日本被災地応援実行委員会(現 UNESCO 部)に所属していました。私が小学生のころの担任の先生は、震災当初から宮城県女川町などを訪れ、現地の様子を伝えてくれました。私たちは被災地の人達が温かい気持ちになれるようにメッセージとカイロを送ったり、被災地への思いをつづった手紙を風船に結び、空へ飛ばしたりしたこともありました。東北を思う支援は小学校を卒業しても続けたいと思い、中学校では東日本大震災被災地応援実行委員会に入りました。物品の販売や募金など被災地の応援活動を行っていました。中学校から高校まで、活動を続けていくうちに疑問が生まれました。それは、支援内容があまり変化していないということです。**現地の復興状況によって支援内容は変わるべきである**からです。

この考えは私が高校1年生の時にフィリピンへボランティア留学をした学びから得た考え方です。

そこで、仲間と協力し、先生方からのサポートを頂きながら、東日本へ行く計画を立てました。私たちの目標は、東日本被災地応援実行委員会支援している方々に実際に会ったり、**現地の復興状況を見て、「自分たちに何ができるのか」を知り、今後の活動に生かしていくことでした。**現地では、自分の目で自分の心で感じ、被災地支援や震災の被害に対する深い学びを得ることができ、学校に帰ってその経験を仲間に伝えていくという活動を行いました。

今でも、能登半島地震や東日本大震災への想いは変わりません。私の夢は小学校の教師になることです。いつか自分の言葉で子どもたちに社会や世界を見て「自分には何ができるか」と考え行動するためにどうすればいいかと問題提起をするために、私自身学び続けます。

ある日の新聞記事から…

私は読売新聞「復興に寄り添い 住民の絆」という能登地震関連記事(龍谷大学の学生による輪島市朝市通りのボランティアの報告会)を読んで、学生の「わずかであっても役に立てると信じた」という言葉を見て、感銘を受けました。ですから、これからもできる限りのことは尽くしていきたいと。特に平女でも行っている募金活動には積極的に参加できたらなと思います。また「あさいち」通りがでてきて絵本の内容を思い出しました。とてもほんわかしていた市場が、地震で火災が起こってしまい焼失したことによって今はなくなって寂しく感じます。必ず復興してほしいなと思います。最近も石川県で震度5強の地震が起き、地震速報が鳴りました。素早く、迅速に行動できるよう徹底していきたいです。

(中学2年岸本さん 6月5日付)

朝日デジタル掲載の「能登地震5カ月『見えない避難者』課題に」を読んで、お正月にたくさんの被害をもたらした能登地震から5カ月経っても、被害の全容が見えず苦しんでいる人がいることに驚きました。記事の中に、犬を飼っていて連れてくるからという理由で、避難所に入れて貰えなかったのを見て、犬も大切な命があるのに…と思いました。これからも地震が起こるかも知れません。能登地震の反省を生かして、防災について考えていくべきだと思いました。(中学2年藤原さん 6月1日付)